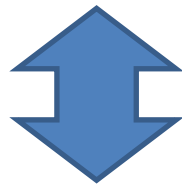


緩和ケアに関する地域連携の具体施策案

求められる取組

がん診療連携拠点病院・がん診療病院

- ・求められる機能を検討会にてとりまとめ
- ・将来的には緩和ケアセンター機能を確保
- ・在宅担当者とのリアルタイムの正確な情報交換



連携

地域在宅療養支援診療所 訪問看護ステーション

- ・入院医療機関とのリアルタイムの正確な情報交換

- ・がん患者カウンセリング等を活用し、診断時から、治療のover viewを患者とその家族に伝えとともに、意思確認、意思決定支援を行う
- ・在宅療養支援診療所や訪問看護ステーション等と、切れ目のない緩和ケアが提供できるよう調整を行う

- ・入院医療機関の緩和ケア担当者は、在宅医、訪問看護師、ケアマネージャーとの定期連絡を行い、在宅療養へ移行した患者の病態をリアルタイムに把握

- ・緩和ケア病床の設置
- ・緊急対応(在宅担当者との密な連携により予定入院を目指す)
- ・ホスピスとの連携

- ・在宅医療機関の担当者は、拠点病院の緩和ケアチームへ定期的に訪問し、連携が必要な患者とその家族と面談(療養のover viewの説明等)するとともに、地域連携に必要な情報(病態・思想・家族ダイナミクス)を持ち帰る

- ・治療適応を常に再考し、拠点病院に打診



緩和ケアセンターにて、上記の取組を行う環境整備を行う